

オーラルケア製品のトップメーカーが 歯周病検出装置で歯科医療分野へ進出

90年以上の歴史を持ち、国内大手メーカーを主要取引先とし、歯ブラシを中心としたオーラルケア製品では業界トップクラスのシェアを誇る。食品用の包材や芳香剤などのトイレサニタリー製品、文具などのステーションナリー製品など多様な製品を手掛けている。海外にも工場を有しており（タイ・台湾）、ISO基準に従った高品質な製品を製造・提供を行っている。

●所在地 大阪府八尾市光町一丁目61番地

●電話/FAX 072-991-1261/072-993-7856

●URL <http://www.yamato-esulon.co.jp>

●代表者 代表取締役社長 松下 俊治

●設立 1928年

●資本金 10,000万円

●従業員数 700人



オーラルケア製品の知見・技術を活かした歯周病小型検出装置

同社の歯周病検出装置は従来のものが小型冷蔵庫大のものを炊飯器程度まで小型化。価格も従来品が300万円程度するものを月額2万円程度でリースと大幅に安価で提供。また、歯垢を採取する歯間ブラシには歯垢の採取量を一定にするため、ブラシの毛の太さや、余剰に採取した歯垢をこそげ落とすためのプラスチックキャップの形状を0.1ミリメートル単位で調整。歯ブラントップメーカーの技術力を活かしている。小規模歯科も販売のターゲットとなり、従来品と競合しない部分での普及が見込まれている。



歯周病小型検出装置

オーラルケア分野から歯科医療分野への進出を実現

オーラルケア分野から、歯科医療分野への進出に際し、大阪大学の助言や、学会に参加し知見を深めることにより、歯周病検出装置を製品開発。あわせて、自社の得意とするブラシ製造技術を活かし、適切な歯垢サンプルの採取ができるような検査キットを開発。誰でも簡単に検査を行うことができる点で差別化を実現している。歯周病小型検出装置の普及により、検査キットのほうも持続的な売上計上が可能となる。



検査キット

開発・生産ともに地域と連携、地域経済活性化に貢献

今回の検出装置は同社の研究者が大阪大学に助言を求めたり、地元の歯科学会に参加する等の連携を深めたうえで開発にこぎつけたもの。また機器の生産については同じ八尾市内の工場が担っており、同社だけでなく地域経済の活性化にもつながるものとなっている。



学会参加時の展示ブース